共に挑む　～市長メッセージ～

市制85周年を迎えて

半田市長　久世　孝宏

令和4年10月1日、本市は市制施行85周年を迎えます。

今日に至るまで、様々な困難を乗り越え発展し続けてこられたのは、懸命にまちづくりにご尽力いただいた先人の皆様や半田を愛し住みよいまちを共に築いてきてくださった市民の皆様をはじめ、本市の発展にご貢献いただきました全ての方々のお力であり、心から敬意と感謝を申し上げます。

本市は、江戸時代中期から本格化した醸造業の成長とともに港湾都市として栄え、知多地域の政治・経済・文化・教育の中心を担うまちとして発展してきました。

これまでの歴史を振り返ってみますと半田市は昭和12年に半田町、成岩町、亀崎町が合併し、県下では6番目、知多半島では最初に市制施行を行った市として誕生しました。当時は5万人あまりだった人口も、現在は約12万人となり、今なお知多半島の中心都市として歩みを進められていることに誇りを感じています。

本市のルーツに大きな影響を及ぼした「半田運河」からは、江戸時代に弁才船で酒、酢などが江戸に運ばれました。酒造りからでる酒粕を原料に粕酢を生み出し「握りずし」が江戸中に広がるきっかけとなりました。現代へと歴史を繋ぎ、身近に文化や伝統を感じることが出来る本市の特色を改めて皆様に知っていただくとともに、今後も温もりを感じられるまちであり続けたいと思っています。

一方、我々を取り巻く環境は日々刻々と変化しています。激動する社会情勢のなか、本市も様々な変化への対応が必要になってきます。本市では将来都市像を「人がまちを育みまちが人を育む　チャレンジあふれる都市・はんだ」と掲げています。先人たちの築いた歴史や伝統を継承するだけでなく、常に新しいことにチャレンジする姿勢を持ち、さらに素晴らしいまちとなるよう本市の発展に全力で取り組んでまいります。

市制施行85周年を迎えた本年を新たな出発点とし、新たな歴史を皆様と共に歩んで行けるよう職員一同、精一杯努力してまいりますので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。